

令和 8 年度

事業計画

公益社団法人 伊勢市観光協会

公益社団法人伊勢市観光協会
令和8年度 事業計画

伊勢の地は、古来「一生に一度はお伊勢参り」と称され、日本人の心のふるさととして親しまれてまいりました。観光を取り巻く環境が激しく変化する中、伊勢神宮を中心とした豊かな歴史、文化、そして食の魅力は、時代を超えて人々の心を惹きつけてやみません。コロナ禍からの観光需要の回復やインバウンド観光客の増加は喜ばしい限りですが、私たちは今、単なる「集客」の段階を超え、持続可能な観光地を目指して舵を切る新たな局面を迎えています。

このような中、当会として総力を挙げて取り組むべき大きな節目が近づいております。本年および翌年に執り行われる「お木曳行事」です。神宮式年遷宮に使用される御用材を運び入れるこの行事は、地域住民の奉仕の精神と伝統が息づき、市民と来訪者が感動を共有する伊勢の誇りそのものです。この貴重な伝統行事を次世代へと確実に継承し、その熱気と感動を広く発信していくことに、当協会としても最大限の注力をしてまいります。

さらにその先に見据えるのは、令和十五年に執り行われる「第六十三回神宮式年遷宮」です。伊勢観光における最大の好機に向けて、今から着実な準備と情報発信の強化を図ることが不可欠です。歴史ある式年遷宮が持つ多面的な価値を国内外に深く伝えていくことで、単なる観光地としてではなく、精神文化の拠点としての「伊勢のブランド」をより一層高めていきます。

各部会においては、上記を念頭に各事業に取り組んでいただきたいと思います。観光は、地域の経済を支える柱であると同時に、私たちの誇りを次世代へとつなぐ大切な活動です。会員の皆様お一人おひとりの創意工夫と情熱が結することで、伊勢はさらに輝きを増すと確信しております。

公益社団法人伊勢市観光協会
会 長 木造 隆誠

<公益目的事業－旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業（情報発信部会）※括弧内は、事業を中心的に推進していく部署です

SNS 等の発達により、情報が場所にとらわれることが無くなっていく現況において、インターネットを介した情報発信の重要度が今まで以上に高くなっております。当会は、伊勢の知名度をさらに高め、多様化している国内外観光客のニーズに対応でき、オンタイムの観光情報を提供できるホームページを目指しています。また、SNS（Social Networking Service、コミュニティ型の会員制のサービス）ごとの特性を活かした発信内容、形態で情報発信を行っていきます。令和15年の第63回神宮式年遷宮に向け、御遷宮に関する情報を発信するポータルサイトの立ち上げも行います。

恒例行事となっている日本観光祈願祭は継続を基本とし、観光交流・伊勢会議は、日本観光祈願祭実行委員会において開催方式などの検討を行い、今年度は共催者である日本観光振興協会の会員への周知を基に全国へと拡大していきたいと考えております。

昨年度あらたな情報発信ネットワークとして伊勢結人（いせゆいと）事業を立ち上げその運営を始めており、本制度の展開についても協議を重ねます。

観光 PR 事業においては、首都圏、北海道にて観光物産展と連動した現地観光 PR イベントを実施します。今年度は令和9年の第二次お木曳行事に向けた新しい試みとして、山口県神社庁とタイアップを行い、現地での観光 PR を実施します。

外国人観光客誘客事業に関しましては、昨年度に引き続き海外での現地 PR を予定しております。

広報宣伝事業におきましては次の事業を行います。

1. ホームページ等、インターネットを利用した観光情報提供（情報発信部会）
2. SNS 等を活用した観光情報提供（情報発信部会・青年部）
3. 観光案内所及び観光サービスセンターにおける観光情報提供（情報発信部会・おもてなし行事部会・三役部長級会議）
4. 行政との観光パンフレットの協働作成及び配布事業（情報発信部会）
5. 観光物産展と連動した PR 誘客活動（情報発信部会・青年部）
6. マスメディアへの資料提供、取材協力、並びに宣伝活動（事務局）
7. 伊勢観光大使及び伊勢結人制度を活用した口コミ等による情報発信の強化（情報発信部会）
8. 第59回日本観光祈願祭の開催（日本観光祈願祭実行委員会）
9. 外国人観光客への PR 事業（情報発信部会）
10. 開花情報配信事業（情報発信部会）
11. チャージスポット表示部による情報発信（情報発信部会）
12. その他広報宣伝事業

2 観光客の誘致接遇事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部）

伊勢市、伊勢商工会議所、伊勢志摩観光コンベンション機構など各関係団体と協働体制をとり、旅客誘致やおもてなし事業を企画推進していきます。

おもてなし研修については、伊勢のおもてなし促進に資する研修を行ってまいりましたが、令和8年度も伊勢のおもてなし力を高める研修を検討し、実施します。

観光案内については、令和4年12月にリモート案内機能を導入したことで、御遷宮に向けてフレキシブルに案内機能を移動増設することが可能となり、また非接触での案内となることから感染症に強い案内機能となっております。市と協働しながら、令和8年9年のお木曳行事を契機とした来訪者に効果的な案内の提供ができるようにしていきます。

レンタサイクル事業に関しては、シティサイクル、電動アシスト自転車及びE-Bikeの運用を行い、OTAの活用、旅行商品への展開など更なる利用促進を図ります。また、近畿日本鉄道株式会社が運営するシェアサイクル「ハローサイクリング」事業にも協力をしていきます。

ガイド事業に関しては、お伊勢さん観光ガイドの会の支援を引き続き行うとともに、インバウンドも含めた観光協会ならではのガイド事業を検討・試行していきます。

外国人誘客（インバウンド）事業では、インバウンド委員会を中心に海外への情報発信・誘客を行います。今年度も海外での現地PRを実施する予定です。また、インバウンド観光客の受け入れ環境整備として、英語対応や英語での体験プランなどについても引き続き検討していきます。昨年度に引き続き、映像によるインバウンド向け情報発信媒体として、外国人によって外国人の為に外国人目線で深掘りするショート動画を作成しアーカイブ化をめざしていきます。

手荷物事業においては、全体的な利用促進を図りながら、御遷宮に向け増加する取扱量に対応できる体制を築き円滑な運営をめざします。また、令和15年の神宮式年遷宮に向けて、増加する手荷物に対応する手荷物預所の体制作りを検討していきます。

観光客の誘致接遇事業におきましては次の事業を行います。

1. レンタサイクル事業（青年部）
2. 観光案内所及び観光サービスセンターにおける観光案内
（三役部長級会議、おもてなし行事部、情報発信部会）
3. ガイド事業（おもてなし行事部）
4. 各種大会等の誘致接遇協力（おもてなし行事部）
5. 歓迎看板等の設置（おもてなし行事部）
6. 伝統芸能振興協力（おもてなし行事部）
7. 外国人観光客誘致事業（情報発信部会、インバウンド委員会）
8. 行政並び関係機関との次期御遷宮へ向けた協働事業
（おもてなし行事部、情報発信部会、青年部）
9. 伊勢市駅手荷物預かり所、外宮前観光サービスセンター、二見浦観光案内所
における手荷物預り事業（三役部長級会議）

- 1 0. 伊勢市駅手荷物預かり所における手荷物ホテル配送事業（三役部長級会議）
- 1 1. チャージスポットによるモバイルバッテリー貸出、設置管理（情報発信部会）
- 1 2. 第一次お木曳行事における、特別神領民受入協力（おもてなし行事部）
- 1 3. その他誘致接遇事業

3 企画調査事業（情報発信部会、おもてなし行事部、青年部、三役部長級会議）

国・県・市の各関係機関から観光政策に関わる情報を取り入れ、観光に関する動向の調査・研究を行い、この地域における観光誘致事業のあり方を考察し、地域が活性化する観光地づくりの研究を行います。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 活性化する観光地づくりの調査・研究（情報発信部会、三役部長級会議）
2. 伊勢結人制度の活用（情報発信部会）
3. 先進観光地の研究、視察
（青年部、おもてなし行事部、情報発信部会、三役部長級会議）
4. その他

4 観光行事事業及び実施支援事業（おもてなし行事部、三役部長級会議、青年部）

伊勢市の伝統、文化を守り継承していく行事を支援し、伊勢を訪れる観光客に伊勢の魅力を伝え、再来訪や情報発信に繋がります。併せて観光事業を通じて関係各団体と連携を図り観光振興、発展に努めます。

二見浦海水浴場の運営については、例年通りの開設を行う予定です。二見地区での体験メニューの情報発信や、二見地区でのイベントを開催し、観光客の滞在時間延伸に寄与する事業を行います。

以上の目的を達成するために次の事業を行います。

1. 伊勢神宮奉納全国花火大会（おもてなし行事部）
2. 二見浦海水浴場浜開き式及び運営（おもてなし行事部）
3. 二見ビーチ周辺を活用したイベントの開催（おもてなし行事部）
4. 二見地区を中心とした体験メニューの情報発信（おもてなし行事部）
5. 神宮観月会に併せた観月茶会の開催（おもてなし行事部）
6. 初穂曳への協力（おもてなし行事部）
7. 冬至の奉納（おもてなし行事部）
8. 越年行事 伊勢神宮奉納餅つき（おもてなし行事部）
9. 伊勢楽市開催協力（事務局）
- 1 0. 伊勢まつりへの協力（おもてなし行事部）
- 1 1. その他各種団体行事への協力（おもてなし行事部）

5 関連団体への協力及び事業の推進

関連団体の中枢会員として、観光振興に関わる事業への協力並びに諸施策の推進を図ります。引き続き、伊勢市及び伊勢志摩地域の関係団体等との連携を図り、広域的な観光を目指す事業への協力と推進を共同していきます。

以下の事業団体及び会議体へ参加協力及び事業推進を図ります。

1. 伊勢御遷宮委員会
 - ・伊勢神宮奉仕会
 - ・奉曳団連合会
 - ・奉曳団本部
2. 伊勢商工会議所
 - ・伊勢市中心市街地活性化協議会
 - ・伊勢音頭発展会
3. (公社) 伊勢志摩観光コンベンション機構
 - ・伊勢志摩学生団体誘致委員会
 - ・伊勢志摩観光企画委員会
 - ・伊勢志摩フィルムコミッション
 - ・伊勢志摩インバウンド担当者会議
4. (一財) 伊勢志摩国立公園協会
5. (公社) 三重県観光連盟
6. 伊勢市国際交流協会
7. (公社) 日本観光振興協会
8. 伊勢まちづくり株式会社
9. 伊勢青年団体連絡協議会
10. おもてなしヘルパー推進会議
11. 伊勢地域観光交通対策協議会
12. いせでわDMO（山形県主導事業）
13. スマートシティ伊勢推進協議会
14. 伊勢鳥羽志摩連絡協議会
15. その他団体、会議体との協力、連携

6 第63回神宮式年遷宮へ向けた取り組み、「第一次お木曳行事」

令和8年度は、令和15年に控える神宮式年遷宮の民俗行事「第一次お木曳行事」の年となります。御遷宮に向けた伊勢市観光最重要事項と位置づけ、伊勢御遷宮委員会の一員として参画をしていきます。当会は特別神領民としてお越しになる全国の方へのおもてなしを担当させていただきます。奉曳後にお立ち寄り頂きます、おもてなし広場の運営を行い、伊勢らしい接遇を行い再来訪の呼び掛けをさせていただきます。

地域の重要な民俗行事である本行事の遂行に向け、伊勢市、伊勢商工会議所、そして伊勢御遷宮委員会と共に取り組んでいきます。

7 協賛または後援行事

伊勢市内で開催される各種行事の観光客誘致については賛同し、協賛及び後援をしていきます。

次の各種行事に協賛または後援をしていきます。

1. 猿田彦神社御田祭及び七五三祭
2. 倭姫宮例大祭(春・秋)
3. 伊勢高柳の夜店
4. 二見大祭しめなわ曳
5. 外宮奉納市
6. 外宮さんゆかたで千人お参り
7. 伊勢神宮奉納選抜社会人野球伊勢大会
8. 都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会
9. 伊勢まつり
10. 全日本大学駅伝対校選手権大会
11. 伊勢神宮奉納全日本学生弓道王座決定戦
12. 伊勢神宮奉納書道展
13. お伊勢さんマラソン
14. 松尾観音寺初午大祭
15. 神宮奉納大相撲
16. 金剛證寺開山忌
17. その他 協会が認める観光事業

<収益事業>（三役部長級会議、青年部）

公益目的事業遂行の為の資金調達及び誘客の為の情報発信を目的として、下記の事業を行います。

1 賃貸事業

伊勢市駅前ビルの賃貸事業に加え、風餐亭1F研修室を使った賃貸事業を推進します。伊勢市駅前ビルにおいては、引き続き老朽化による修繕を効果的に実施していきます。

2 物品販売事業（青年部、三役部長級会議）

物品販売事業については、各地でのPRやイベントなどへの出店をしていきます。

伊勢市ふるさと応援寄附金返礼品管理及び対応業務として、これまで返礼品のポータルサイトへの掲載、返礼品の発注・発送管理及び精算等に関する業務、返礼品のPRに関する業務等を受託してきました。令和8年度も伊勢市のふるさと納税の業務を受託することができるよう、引き続き参画事業者、会員とのパイプ強化に努めます。

なお、旅先でふるさと納税を行うと、参画店舗ですぐ使える電子クーポンが返礼品として提供される「旅先納税」について、令和7年度には、観光協会として紙券版を企画し、運用を開始いたしました。旅先納税のポイント版、紙券版双方について、利用促進に取り組みます。

3 会員互助事業（情報発信部会、三役部長級会議、青年部）

会員広報誌「ええじゃないか伊勢」の発行を行います。会員交流の場として、年末に全会員を対象とした交流会を開催し情報交換と懇親の機会を設けます。併せて、会員への迅速な情報共有を行います。SNS等の活用の検討を行います。

<本部事業>

1 三役部長級会議

昨年度までの中期政策検討部会に替わり、協会の運営や事業、その方向性などについて検討し、理事会へ提言していきます。本年度はさらに事業等の統廃合などの見直しを進め、コスト削減や運営の効率化を図り、健全な協会運営をめざします。

また、地域の観光をマネジメントする地域 DMO（Destination Management/Marketing Organization）として、「稼げる観光地」への転換を強力に推進します。伊勢市観光振興課・伊勢市観光誘客課・伊勢商工会議所・伊勢まちづくり株式会社とともに策定し、令和8年4月に施行予定の「伊勢市観光戦略プラン」に基づき、事業を進めます。「伊勢市全体の観光運営」を行うための会議体について市と協議を継続し、かつ、伊勢市全体の観光運営に必要なマーケティングについても、取り組み可能な事から開始するとともに、将来的にこの地域に必要なデータ分析ができるよう調査研究を進め、効果的運営を市及び観光関係団体と協議していきます。

予算書(正味財産増減予算書)

令和8年4月1日から令和9年3月31日

単位(円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費				
正会員受取会費	11,530,000	11,530,000	0	
協賛会員受取会費	900,000	750,000	150,000	3会員増
②事業収益				
賃貸収益	2,066,000	2,066,000	0	
物品販売事業収益	360,000	1,000,000	△ 640,000	ECサイト閉鎖
受託事業収益				
観光案内所	27,254,800	25,543,500	1,711,300	
二見周遊促進	5,211,000	6,215,500	△ 1,004,500	
ふるさと納税	12,056,000	11,040,000	1,016,000	業務増による
手荷物預り事業収益				
ホテル配送	13,485,000	11,171,000	2,314,000	ホテル配送件数増
一時預かり	27,782,000	22,183,000	5,599,000	預かり件数増
レンタサイクル事業収益	4,959,000	4,803,000	156,000	
広告収益	1,000,000	1,000,000	0	
③受取負担金				
受取負担金	23,049,000	24,936,000	△ 1,887,000	パンフレット作成減
④受取寄付金				
受取寄付金振替額	2,431,000	2,431,000	0	
⑤雑収益				
雑収益	6,450,000	6,870,000	△ 420,000	
経常収益計	138,533,800	131,539,000	6,994,800	
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,850,000	2,700,000	150,000	専務理事1名
給料手当	13,575,000	12,965,000	610,000	事務局3名
賃金	24,978,000	22,494,000	2,484,000	ふるさと納税1名増、 手荷物、案内所賃金増
福利厚生費	6,227,000	6,152,000	75,000	
旅費交通費	3,102,000	2,787,000	315,000	
通信運搬費	8,581,000	8,622,000	△ 41,000	
減価償却費	2,564,000	2,564,000	0	
消耗品費	2,657,000	2,717,000	△ 60,000	
修繕費	855,000	895,000	△ 40,000	
印刷製本費	8,344,000	10,525,000	△ 2,181,000	パンフレット作成減
燃料費	69,000	69,000	0	
光熱水料費	735,000	703,000	32,000	
賃借料	2,765,000	2,525,000	240,000	
保険料	655,000	654,000	1,000	
諸謝金	380,000	300,000	80,000	
租税公課	6,174,000	5,673,000	501,000	
支払負担金	1,821,000	1,821,000	0	
委託費	35,085,000	33,063,000	2,022,000	ホテル配送件数増
会議費	825,000	625,000	200,000	
渉外費	266,000	266,000	0	
支払手数料	1,360,000	880,000	480,000	
物品仕入高	200,000	800,000	△ 600,000	
雑費	749,000	1,171,000	△ 422,000	
事業費計	124,817,000	120,971,000	3,846,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	
②管理費				
役員報酬	1,900,000	1,800,000	100,000	
給料手当	3,376,000	3,268,000	108,000	
福利厚生費	1,098,000	1,098,000	0	
会議費	26,000	26,000	0	
旅費交通費	52,000	52,000	0	
通信運搬費	606,000	673,000	△ 67,000	
減価償却費	1,556,000	1,556,000	0	
消耗品費	226,000	250,000	△ 24,000	
修繕費	43,000	43,000	0	
印刷製本費	52,000	52,000	0	
燃料費	17,000	17,000	0	
光熱水料費	134,000	134,000	0	
賃借料	291,000	291,000	0	
保険料	147,000	147,000	0	
租税公課	306,000	306,000	0	
支払負担金	81,000	81,000	0	
委託費	580,000	580,000	0	
渉外費	65,000	65,000	0	
支払手数料	23,000	23,000	0	
雑費	102,000	106,000	△ 4,000	
管理費計	10,681,000	10,568,000	113,000	
経常費用計	135,498,000	131,539,000	3,959,000	
評価損益等調整前当期経常増減額	3,035,800	0	3,035,800	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	3,035,800	0	3,035,800	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増	3,035,800	0	3,035,800	
(積立金振替)				
建物解体積立資金	2,000,000			
式年遷宮事業積立金	1,000,000			
積立金 合計	3,000,000			
次期繰越一般正味財産増	35,800			

予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

令和8年4月1日から令和9年3月31日

単位(円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
①受取会費				
正会員受取会費	5,765,000	250,000	5,515,000	11,530,000
協賛会員受取会費	900,000	0	0	900,000
②事業収益				
賃貸収益	0	2,066,000	0	2,066,000
物品販売事業収益	0	360,000	0	360,000
受託事業収益				
観光案内所	27,254,800	0	0	27,254,800
二見周遊促進	5,211,000	0	0	5,211,000
ふるさと納税	0	12,056,000	0	12,056,000
手荷物預り事業収益				
ホテル配送	13,485,000	0	0	13,485,000
一時預かり	27,782,000	0	0	27,782,000
レンタサイクル事業収益	4,959,000	0	0	4,959,000
広告収益	1,000,000	0	0	1,000,000
③受取負担金				
受取負担金	14,848,000	0	8,201,000	23,049,000
④受取寄付金				
受取寄付金振替額	486,000	608,000	1,337,000	2,431,000
⑤雑収益				
雑収益	450,000	6,000,000	0	6,450,000
経常収益計	102,140,800	21,340,000	15,053,000	138,533,800
(2) 経常費用				
①事業費				
役員報酬	2,660,000	190,000		2,850,000
給料手当	12,880,000	695,000		13,575,000
賃金	22,854,000	2,124,000		24,978,000
福利厚生費	5,943,000	284,000		6,227,000
旅費交通費	3,095,000	7,000		3,102,000
通信運搬費	2,409,000	6,172,000		8,581,000
減価償却費	1,626,000	938,000		2,564,000
消耗品費	2,539,000	118,000		2,657,000
修繕費	749,000	106,000		855,000
印刷製本費	7,687,000	657,000		8,344,000
燃料費	67,000	2,000		69,000
光熱水料費	676,000	59,000		735,000
賃借料	2,566,000	199,000		2,765,000
保険料	382,000	273,000		655,000
諸謝金	380,000	0		380,000
租税公課	4,565,000	1,609,000		6,174,000
支払負担金	1,810,000	11,000		1,821,000
委託費	34,112,000	973,000		35,085,000
会議費	571,000	254,000		825,000
渉外費	257,000	9,000		266,000
支払手数料	977,000	383,000		1,360,000
物品仕入高	0	200,000		200,000
雑費	665,000	84,000		749,000
事業費計	109,470,000	15,347,000		124,817,000

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	合計
②管理費				
役員報酬			1,900,000	1,900,000
給料手当			3,376,000	3,376,000
福利厚生費			1,098,000	1,098,000
会議費			26,000	26,000
旅費交通費			52,000	52,000
通信運搬費			606,000	606,000
減価償却費			1,556,000	1,556,000
消耗品費			226,000	226,000
修繕費			43,000	43,000
印刷製本費			52,000	52,000
燃料費			17,000	17,000
光熱水料費			134,000	134,000
賃借料			291,000	291,000
保険料			147,000	147,000
租税公課			306,000	306,000
支払負担金			81,000	81,000
委託費			580,000	580,000
渉外費			65,000	65,000
支払手数料			23,000	23,000
雑費			102,000	102,000
管理費計	0	0	10,681,000	10,681,000
経常費用計	109,470,000	15,347,000	10,681,000	135,498,000
評価損益等調整前当期経常	△ 7,329,200	5,993,000	4,372,000	3,035,800
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,329,200	5,993,000	4,372,000	3,035,800
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	2,542,000	△ 2,542,000	0	0
当期一般正味財産増	△ 4,787,200	3,451,000	4,372,000	3,035,800
(積立金振替)				
建物解体積立資金				2,000,000
式年遷宮事業積立金				1,000,000
積立金 合計				3,000,000
次期繰越一般正味財産増				35,800

資金調達及び設備投資の見込みについて(案)

(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

(1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		☐	あり	☒	なし
事業区分	借入先	金額		使途	

(2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		☐	あり	☒	なし
事業区分	設備投資の内容	支出又は収入の予定額		資金調達の方法	

(3) その他

建物解体積立資金 200 万円、式年遷宮事業積立金 100 万円を予定している。